

日本あちこち河川遡行記（第303回）

大阪-3. 石津川（その1）後半 令和1年11月22日（金）曇り

[続き]

左岸側を進むと今度は阪堺電気軌道の古い橋が川を横断している。南海本線との間の距離はわずか 300m ほどで全線が本線の近くを走っている。コバンザメのような線路だ。



12.阪堺電気軌道の電車が橋を渡る

手前の市道橋を渡り右岸側の道路を東に進むと「石津」駅が突然現れる。単行車が主体の阪堺線のホームは低く、電停を少し高くしたような高さである。上屋はレトロな雰囲気がプンプンしよる。この辺りは専用軌道区間で直線の線路が延びている。親は狭軌だが子は標準軌だぞ。阪堺電軌を見ると広電宮島線を想いだす。チンチン電車と郊外準高速電車を併せ持つ鉄道だ。運賃は全線同一運賃 210 円で安い！堺市の補助で数十円安くなっている。



13.低いホームに木製の上屋、味が有りまん



14.なんと、恵美須町から浜寺まで乗っても 210 円だ



15.線路が真っすぐに彼方まで

再び右岸側の道路を進み国道 26 号の下を潜る。国道の中央には阪神高速堺線が橋の直ぐ南から始まっている。主役の座を阪高に獲られた国道が申し訳程度にくっ付いている。僅か 1.5km ほどの間に鉄道 2 本、高速 2 本、国道 1 本、幹線府道 2 本が集中しているエリアだ。

極太の堺市水道管の横の橋脚防護柱の上に鷺が羽を休めている。姿、形は良いのだがあの鳴き声（ギャー）には幻滅する。

東からの流れが少しずつ南に変わる。道路の反対側に蜜柑、柿、無花果の木が一塊になって実をつけている。身を寄せ合った集団生活や一。



16.橋の上で一休みだ



17.蜜柑、柿、無花果が一塊に

右、左と右往左往しながら進むと東側に「百済川」が合流してくる。堺市道の

「新諏訪神橋」の橋の中央に横断歩道と信号機が設置されている。この形式つい最近も見たぞ。



18.東から「百済川」が合流



19.この橋にも中央に横断歩道と信号が

南からの流れになった川沿いの道を進むと今度は JR 阪和線が川を越えている。関空特急「はるか」が音も無くやって来たので急いでカメラを取り出しカシヤ。



20.関空特急「はるか」が通過

津久野駅のすぐ横の線路の下を潜り川に向かう道に新たなマンホール蓋が現れる。清流を好む蛍が描かれている。この川では無理だがかつては蛍が乱舞していたのだろうか。

阪和線の橋の南側に来ると今度は 225 系の快速が通過して行く。阪和線は全電車が新系列の電車に置き換えられた。いまだに国鉄時代の電車全盛の岡山支社は情けない。



21.堺市第四の絵柄が登場



22.阪和線は電車が全て新形式の車両
に変身！

住宅地に中小の工場が混在する地域に入る。川は適当に蛇行し川沿いの土手道も片側だけになったりする。低い土手の下の細長い敷地にミニガーデンが造られている。殺風景な土手道歩きには有難いガーデンである。

右足の踵が痛くなってくる。5km を過ぎると黄信号が灯るようだ。「毛穴町」というけったいな名前エリアに入る。これで「けなちょう」と読むようだが、地名の謂れが知りたいものだ。



23.土手と道路の間が花園に



24.毛穴を「けな」と読む珍しい地名だ

右岸側の土手道を進んで来ると上流側の先が怪しい姿をしている。先日のごとが有るので川を外れ迂回する。川に戻るとそこは「落合大橋」。出た！落合橋の大物が。府道 61 号の橋の直ぐ上流の左岸側に「和田川」が合流している。ここからの流れの長さは本流よりも和田川の方が長いので和田川を遡行調査の対象にするか悩ましい。

川に沿って南東に向かう広い府道 61 号の歩道を何とか歩く。大きく広い堺市下水処理場が道の東側に広がる。そうか！この川はこの処理場の処理水が流れていたのだ。反対側は広い団地が連なっている。足が悲鳴をあげる前に丁度バスの通過時刻なので、予定していたバス停より二つ手前の「八田西団地」バス停から「津久野駅」行き南海バスに乗る。広いエリアの台地と丘陵地にはごま塩を振ったように住宅が点在し、バス路線網が充実している。南海バスは大阪府で一番利用者の多いバス会社ではないだろうか。

津久野駅から各停に乗り三国ヶ丘駅で紀州路・関空快速に乗り換える。駅ホームから上を見ると太い水道管がホームと線路の上を横断している。あっと驚く景色だ。



25. 「三国ヶ丘」駅のホームの上を太い水道管が横断

三国ヶ丘は「河内」、「摂津」、「和泉」3ヶ国の境界にある地名で、三国山は全国に数多くあるが丘は珍しい。大阪府にも「河内」、「和泉」、「紀伊」3国境に三国山（H=885m）が有る。天王寺、三国ヶ丘と鉄道駅駅名と同じ府立高校が有るが、我が母校には大学も含めて無いなー。

本日の歩行距離：7.8km。調査した橋の数：36。

総歩行距離：10,671.2km。総調査橋数：13,879。

使用した 1/25,000 地形図：「堺」（和歌山 9 号-2）